

# 栃事研会報



第96号 令和2年3月9日発行  
栃木県公立小中学校事務職員研究協議会  
編集発行人 安田 晃一

## <主な内容>

- 副会長あいさつ、栃事研セミナー・・・p 1
  - 研究大会、受賞者あいさつ・・・p 2・3
  - ステージI研修、ステージIV研修・・・p 4
  - 理事会の様子、お知らせ・・・p 5
- 栃事研HP <http://tochijiken.sakura.ne.jp/nc3>

## 副会長あいさつ

## 栃事研副会長 手塚 佳子

「小菊は小菊らしく」これは生け花の先生の教えです。菊には、大菊、中菊、小菊と、それぞれに持ち味があり、互いの良さを生かすように生けることが大切であると。そのためには、競わないという視点が必要です。長さや奥行きに違いを出して生けるのですが、私はよく先生から手直しをされました。この枝とこの枝が競っていると。そして私が考えていないほど、一方を短くしたのです。私は、競わないことを十分承知して長さを決めました。しかし、先生の見立ては違っていました。主観にとらわれず、客観的に判断することの難しさを痛感した体験です。

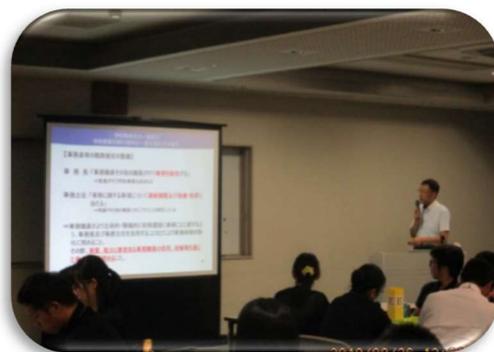
さて、私たちの仕事を考えたとき、誰しも主観を頼りに仕事をしています。悩みや困難に直面することもあります。その時、客観視する指針となるのが栃事研のビジョンです。

栃事研では、教育の質を向上させるために、事務職員自ら学校経営に参画していくことを共通の課題としています。あまり難しく考えず、まずは学校の課題を先生方と共有し、自分の発想が生かせることを、何か一つ具体的に試してみてもはどうでしょうか。仕事を創造し、その先に子どもたちの笑顔を思い描くことができれば、事務職員の仕事に誇りと楽しみを見つけ出せるはずです。「事務職員は事務職員らしく」それぞれの学校で、子どもたちの未来のために職責を果たしていきましょう。

## 第17回 栃事研セミナー

令和元年8月23日

愛知教育大学教育学部准教授 風岡 治 様を講師にお招きし「新学習指導要領とカリキュラムマネジメント」と題し講義と演習を行いました。支部からの推薦者25名を含む55名の参加者は熱を帯びた講義に聞き入っていました。その後のグループ演習では、「カリキュラムマネジメントの三つの側面から事務職員が各学校でどのようなアプローチを行えるのか、各校の課題や現状を出し合い、課題解決のために取り組みたいことなど話し合いを行いました。



参加者からは、「まずは、学習指導要領を理解し、各校における教育課程の編成・実施に関わっていく姿を、私たち事務職員の共通認識にしていくことが必要。」「これまでカリキュラムマネジメントについて言葉では理解していたが、学校がどのように変わっていくのか分かった。」など前向きな意見がありました。これからの学校経営がカリキュラムマネジメントと重なっていく中で、子どもの学びの充実に向けた事務職員の役割を考える有意義な一日となりました。

## 大会テーマ

「実現しよう！子どもの学びの充実を図る学校事務を」

～学びの実現に向けて…とちぎの目指す経営参画！～

学校経営の主体となるカリキュラムマネジメントにおける私たちの役割や職務内容について議論を深め、実践・行動に結び付けていくことをねらいとしました。

## 開会式・表彰式

開会式では、栃木県教育長、県中学校長会長、県連合教育会長からご祝辞をいただきました。引き続き、令和元年度「教育功労賞」並びに「とちぎ教育賞」を受賞された4名の方の表彰式が行われました。



## 地区発表

地区発表では、上都賀地区・鹿沼支部・日光支部より、「創造しよう子どもたちの未来 創造しよう学校事務」～子どもの豊かな育ちのために～をテーマに発表がありました。

上都賀地区では、上記テーマを基に、急激な世代交代が背景にある中で、キャリアを意識した「人材育成」が必要不可欠と考え、そのためには経験豊富な事務長のこれまでの豊富な経験・体験を、今後学校を支えていく後輩事務職員に継承する必要がある、個人としての支援ではなく、組織としての支援が必要と捉え、取組を続けているという話がありました。

続いての鹿沼市事務研では、ビジョンを策定し、組織としての目標達成に迫るため、「事務研、支援事務室、ワーキンググループ、学校事務支援センター」の4つの活動軸を融合し、子どもたちが豊かな育ちを実現するために活動をしているという話がありました。

日光市事務研では、学校管理規則に「事務職員は財務をつかさどる」が改正されたが、つかさどるとはどのようなことなのか、また、どうすればつかさどることができるのか、各校の実践から見えた成果と課題について話がありました。

最後に上都賀地区・鹿沼市事務研・日光市事務研の活動内容は、市町の違いや組織の違いによって手法・アプローチの仕方は異なるが、目的は「子どもの豊かな育ち」であり、現在の取組に満足することなく、「子どもの豊かな育ちを支える事務職員」として活動をしていきたいと締めくくりました。



## 関ブロ進捗状況報告

来年度行われる関ブロ栃木大会に向けた進捗状況について、渡邊実行委員長より報告しました。大会テーマを「子どもの豊かな育ちを支える学校事務」、サブテーマを「令和（あす）の事務をつかさどれ～すべての人の笑顔のために～」とし、実践行動に焦点を当てて「事務をつかさどる」ということの実体化を考えていきます。また、大会キャッチフレーズが決定し、入賞された小山市立大谷中学校 佐藤 貴紀 様、佐野市立南中学校 岸 敦 様に記念品が贈呈されました。



## 全体研究会

栃事研研究部長 倉澤 由佳より、これまでの研究の実績から、なぜ経営参画をしていくのか、どのように経営参画したら良いのか、振り返りを行いながら学校経営ビジョンの「実現」と「策定」への参画をキーワードに基調報告を行いました。

続いて、基調報告を基にシンポジウムを行いました。

宇都宮市立昭和小学校長 浪花 寛 様、上都賀教育事務所副主幹兼管理主事 早乙女 智 様、全事研副会長 前田 雄仁 様、栃事研研究部員 上田 純 をシンポジストに迎え、栃事研副会長 君久美子がコーディネーターを務めました。「カリキュラムマネジメントの展開における事務職員の役割」「学校経営参画に向けた事務職員の実践と行動」の二つの討議の柱について、それぞれの立場からお話をいただきました。早乙女先生からは「カリキュラムマネジメントを難しいと思う人はあまり堅苦しく考えずに、学校で自分の発想が活かせることを楽しめるような意識改革が必要。」浪花校長先生からは「協働できなければ大きなことは成し遂げられない。同じ目標をもって取り組めることはすばらしいことなので誇りをもって取り組んでほしい。」とのお話をいただきました。



## 受賞おめでとうございます

### ◇教育功労者表彰◇

那須町立黒田原小学校 事務長  
菊地 徳明 様

このたび、身にあまる表彰をいただき、これまで一緒に活動し支えてくださった皆様に心から感謝申し上げます。今後も、皆様と共に子どもたちを最高の笑顔にするため、有意義な時間を過ごしていきたいと思っております。

### ◇とちぎ教育賞◇

宇都宮市立陽東中学校 事務長  
田代 幸江 様

受賞に際しまして、お世話になっております皆様へ、心から感謝申し上げます。さらに頑張るようにと、励ましをいただいたものと思い、とちぎの子どもたちのためにより一層精進して参ります。

### ◇とちぎ教育賞◇

下野市立石橋中学校 事務長  
田中 由紀子 様

この受賞は、下野市の事務職員の皆様と一緒に「共同実施」を進めた結果のご褒美にいただいたものと思っています。そして、これからも人との絆を大切にしていよいよ一層邁進していききたいと思います。ありがとうございました。

### ◇とちぎ教育賞◇

那須塩原市立三島中学校 事務長  
小島 邦子 様

このたびの受賞に際し、驚きとともに大変恐縮しております。支えてくださった諸先輩、仲間の皆様方のお陰と感謝するばかりです。これからも子どもたちのため精一杯頑張りたいと思います。よろしく願いいたします。

### ◇ 文部科学大臣優秀教職員表彰 ◇

小山市立小山城東小学校 主任 上田 純 様が、令和元年度文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞されました。次号で掲載させていただきます。

## ステージⅠ（基本的力量形成期）研修 自己マネジメント 令和元年8月2日



今年度の新規採用者21名を対象とした自己マネジメント研修を行いました。講師には、今年度中央研修を受講した小山市立旭小学校事務長 志水 由美子 様と、先輩事務職員として足利市立けやき小学校主事 神山 千恵 様をお迎えしました。演習では現在抱えている課題や悩みを共有し、その解決策を考えたり解決に向けた具体的な実践目標を立てたりしました。参加者は、講義や先輩の経験談に、うなずいたりメモを取ったりしながら真剣に耳を傾けていました。グループワークは終始和やかな雰囲気の中、活発な意見交換が行われました。参加者からは「現時点での課題は

何か、どのように解決したら良いかという視点をもって、仕事に取り組むことの大切さが分かった」、「自分の強みを課題解決に生かせるようにしたい」、「自分の悩みや課題をどのように解決していくか、その見通しの立て方を理解することができた」などの感想がありました。研修の最後には、各自の課題に対して「先輩の工夫や方法をまねして、効率と優先順位を意識して業務に取り組む」、「疑問点、解決策を整理して記録し、次に同じことがあったときに短時間で処理できるようにする」などの目標をたてました。受講者がこれから具体的に課題解決をしていく実践の過程では、気付きやつまずき、新たな課題の発見などがあるかと思えます。近隣の先輩方には温かく見守り、実践・行動のサポートをお願いいたします。

## ステージⅣ（職務能力発揮期）研修 令和2年1月23日

今年度のステージ別研修は、全国公立小中学校事務職員研究会副会長 前田 雄仁 様を講師にお迎えし、ステージⅣ（採用20～24年目）の方を対象とした戦略マネジメント研修を行いました。午前中の講義では、戦略的に学校経営に参画するために必要な知識や手法、学校経営ビジョンや学校経営戦略、組織開発、また講師の実践として共同学校事務室の取組についてお話いただきました。午後は、ケーススタディを用いた演習を行いました。ロールプレイでは、校長や教諭の立場になって課題について話し合いました。そして、ケースの学校における学校課題と現状の問題点から、「学校を良くするための事務長の提案」を考えました。参加者からは、「学校組織マネジメント三つの視点（変える・見つける・つなぐ）を今後の共同実施組織の中で意識していきたい」「学校内で周りを上手に巻き込む『しかけ』を考えていきたい」「学校経営ビジョンを読み込んで、校長先生と話をする機会をもっとみたいと思った。自分ももう少し学校経営に一步踏み込んで学校改善の提案をしていきたい」というような感想が聞かれました。本研修で学んだことを生かし、事務長としてのリーダーシップを発揮し教育活動に携わることで、より良い子どもの学びの充実を目指します。



## 理事会の様子から

今回は理事会の様子をご紹介します。

栃事研理事会は、年間4回（5月・7月・10月・2月）開催しています。

参加者は各地区支部の代表による理事、会長、副会長、顧問、相談役、事務局長、総務部長、各専門部長、財務部長、全事研理事の皆様及び事務局員です。

理事会では総会議案書の検討や研究大会等各種事業内容の検討、その他栃事研の運営に関して協議をしています。事前に会議の内容を確認し、支部の意見をまとめてきていただくため、会議資料を事前にメール配信をし、効率化を図るとともに協議事項に重点をおいた会議運営を行っています。

また、理事会の記録は、栃事研ホームページに公開していますのでどうぞご覧ください。



## 栃事研からのお知らせ

🌸🌸 令和2年度栃事研研修会並びに総会

令和2年5月28日（木）

会場 宇都宮市文化会館

🌸🌸 第52回関東地区学校事務研究大会（栃木大会）

令和3年1月28日（木）～29日（金）

会場 宇都宮市文化会館